

第 189 回川越市都市計画審議会 会議録

※以下は当審議会における「川越市都市計画マスタープランの改定について」に関する審議内容のみを抜粋したものです。

第 187 回議案第 1 号「川越市都市計画マスタープランの改定について」

議案説明 資料：川越市都市計画マスタープラン地域別構想改定素案
質疑

前回審議会終了後に書面でいただいた意見と担当課の考え方

(意見)

- ①小江戸脱炭素宣言を表明していることを踏まえた表現の見直しについて
- ②将来都市構造において、荒川入間川沿いのサイクリングロードとの連携による自転車レーンの整備、自転車利用のネットワーク構築などについて
- ③土地利用想定箇所の鶴ヶ島駅周辺および西川越駅周辺の追加について
- ④回遊性の高い歩行者ネットワークの整備、自転車レーン整備や自転車通行可能な歩道の整備、また、安心して歩ける生活道路の整備、土日や祝日の歩行者天国の推進について
- ⑤交通空白地等における交通手段の確保、市民の共用・享受、共助組織における自動車送迎事業などについて
- ⑥誇りという言葉の代わりに、シビックプライドとの意見
- ⑦路側帯の美装化、一方通行等による歩行空間の確保について
- ⑧今後 10 年、20 年後における川越市のあるべき姿、望ましい姿、さらには目指すべき姿に少子化対策に対するコメントについて

(担当課)

- ①記載する方向で現在検討している。
- ②関係機関と協議の上、記載する方向で現在検討している。
- ③現在、産業観光課で実施している産業適地の調査を踏まえ、土地利用、土地利用想定箇所の検討を現在行っている。
- ④関係機関と協議の上、記載する方向で現在検討している。
- ⑤関係機関と協議の上、記載の検討を現在している。
- ⑥全体構想で、まちづくりの理念などに記載を検討している。
- ⑦表現の修正を現在検討している。
- ⑧全体構想の「本市の現状およびこれまでの取組成果を踏まえた今後の課題」において、記載を検討している。

意見は主に全体構想への記載を検討しており、次回 4 月の審議会にて反映結果を提示する

予定。

質疑

(委員) まちづくりの方針図において、景観的に特徴のある旧集落という位置指定が青い縦線で示されている。全ての地区を見ても、同じ市街化調整区域の中で、この表記がかなり細かくされているところと全くされてない地域の基準について教えてほしい。

(担当課) 現行マスタープランの記載をそのまま反映している。まちづくりの方針図について、土地利用想定箇所の検討結果を踏まえ、現状に合わない場合は修正する。

(委員) 景観的特徴である旧集落に矢印で、「ゆとりある集落地環境の保全」という記載がある。これは全てのこの景観的特徴のある旧集落の地域に言えることなのか、この南古谷地域だけのことか。

(担当課) 記載が入っていたり、入っていなかったりまちまちになっているが、丸がついているのは調整区域内の集落になっているため、基本的にこの地域だけのことといえる。併せて精査する。

(委員) 周辺環境や地区特性に応じた新たな拠点整備が全体計画の中で位置づけされピンクの丸がついている。まだ正確な位置等が決まっていないとはいえ、ほとんどが日高市の区域に丸がついており、逆にその右隣に「樹林地の残る自然豊かな集落環境の維持・保全」という指定が大きく載ってるが、あえて否定する必要があるのか。まだ位置が確定していないのに、ここは自然樹林残す区域と指定してしまったら、この新たな拠点整備区域が限定されてしまうと思うが、考えを聞きたい。

(担当課) 現行マスタープランの踏襲であり、土地利用想定箇所の検討結果によって、この部分も変わる可能性がある。現在「緑の基本計画」で保全について書かれている部分であり、土地利用の進め方、保全についての進め方、丸の範囲について、今後の検討により表現などを変えさせていただく。

(委員) 本庁地区において、川越市はインバウンドも含めて大量の観光客が来ており、早朝・深夜に何かあった場合、大量のインバウンドを含めたツーリストの被災者が発生する。それに対して、防災まちづくりの方針に何か見込む必要がないか。それとも防災計画の話だから、まちづくりに特に反映する必要はないという整理か。

(担当課) 地域防災計画に委ねるべきと考える。今、立地適正化計画の防災指針を策定しており、その内容も含めて、まちづくりとして記載することができるかを検討できる部分と思われる。今後の課題として認識しておく。

(委員) 本年1月に北陸能登の震災があり、市民の関心の高い分野かと思う。被災者支援という意味で市民とツーリストは意味合いや数字が違ってくると思うので、防災関係とすり合わせを検討いただきたい。

(委員) 本庁地区、「時代がささやき、風かおる出あいの街」とあり、点在する観光歴史資源などをつなぎ、歩行者が中心の街というイメージの言葉があるが、幹線道路の整備をして公共交通が充実することと安心して歩けることの両立は見せ方が難しい。どちらを目指してるかは大きな問題。様々な交通の問題があると思うが、目標の向かい方が文章の中に整理されると、どういうまちを目指しているのかははっきりするのではないかと。そういった理念を書き込めたらいいのではないかと思う。各々の場所の魅力は素晴らしいが、それを繋ぐとなると理念が必要になる。その方向性がはっきり見えた方がいいのではないかと思う。

伊佐沼地区に「伊佐沼公園基本計画」が平成13年にあったと記憶しているが、今の公園の方向性は変化していると感じる。今後の方向性をどうしていきたいのか。

本庁地区に戻り、この間も述べたが、三駅周辺は、もう少し細かくそれぞれ特色を出せる表現ができたらいいいのではないかと。

(担当課) もう少しわかりやすい表現を検討する。伊佐沼について、緑の基本計画などの関連計画が様々あり、表現も変わってきており、本当にやるのかという部分もある。

「グリーンツーリズムの拠点として伊佐沼公園の整備」という表現があるので、精査し記載したいと思う。

道路の部分は中心市街地では自動車流入の問題があり、現状の道路で回遊性向上を図るルートのものを考えながら、道路整備をしていくことで具現化すると考えており、交通量調査等を行い、整理検討していきたい。

(委員) 福原地区と大東地区の区分けは住居表示か、それとも自治会ごとなのか、どういう分け方なのか。

(担当課) 12地区ある市民センター条例に定める地区で分けている。

(委員) 住居表示ということで、自治会は入り組んでおり、土地利用計画や幹線道路等の

整備も隣同士密接に影響し合っている内容だと思う。大東地区の区割りに関して、半信半疑な部分があったので確認した。大東地区は都市整備課が基盤整備を積極的にしている地域であり、中台の住民の一部は大東中学校に通学していると聞いているので、どういう分け方をしているのかと思った。今後は齟齬が出ないように確認をお願いしたい。

川越狭山工業団地は市街化区域であり、旧国道と言われる入間川街道が存在する。この周辺は工業地の青地となっているが、主に住宅地なので住居系なのか工業系なのか。国道16号と旧道間の部分について、市民から誤解のない地図に示なくてはならない。これから10年先、20年先のビジョンを示すわけなので、少し細かいところであるが、地図の表記に関しては少し正確性を期した方がいいのかなと思う。

(担当課) 青く塗られているのは工業と準工業の用途を張っているところであり、工業系もできる用途であるためにこのようになっている。地域住民が今の用途を変えて、住宅系にしたいという話になるのであれば、検討していきたい。

(委員) 福原地区のまちづくりの方針について、同地区が昨年7月に世界農業遺産で、落ち葉たい肥農法が非常にクローズアップされた。一体となった特別な地域であり、景観的に特徴がある旧集落とせっかく記載してあるので、どの地域を示しているのか、市民、将来のこどもたちや川越市に移住する人に対し、とても明確になるため可能な限り表記の検討をしてほしい。

(担当課) 世界農業遺産に関して、エリアをどうにか表記できないかを検討した。かなり細かいため大まかで載せるのが適切なのか、表現できるかは引き続き検討する。エリアを縁取る、図面から起こすことはかなり難しいと思っている。

(委員) 福原地区に関して、下赤坂の地域に工業地帯が広がっている。川越所沢線沿線にも大きな工業施設が多く建ち並んでいる。江川都市下水路とこの地域の開発は、川越とふじみ野市で一体的にこの4、50年間で整備された。雨水排水、水はけがかなり悪い地域であり、この地域がこのままでいいのかと思っていた。また、土地利用方針図をみても、この地域は市街化調整区域、農地、樹林地、集落地と混在している。雨水排水の水はけが大変悪い地域なので、本来であれば工業地帯にして市街化区域に指定したうえで雨水排水対策を計画的に進めていく地域だと思っている。10年、20年後もこういった現状でよいのか懸念していたので、この辺の議論の推移がわかっていたら教えてほしい。

(担当課) 三ヶ島街道の南側の部分、おそらく合併浄化槽で汚水と雨水と一緒に江川都市下水路に流れている地域だと思う。ふじみ野市がどうだったかはわからないが、現在、企業誘致しており、かなり倉庫ができています。道路付けが7mか8mぐらいで、開発を行うには9mほしい。緑の基本計画と様々な矛盾があると思う。ここについても、先程述べたように土地利用の市としての方針は、産業用地の創出について検討している段階であり、新たに位置づけを行う可能性もある。下水については、雨水排水ができるのは江川一本しかなく、江川にみんな流れている状況。公共下水をどこかにもっていくということはないと記憶している。

(委員) そういう課題があると認識しており、安心した。

全体を通して、令和6年度は第5次総合計画を検討していく年だが、都市計画マスタープランが先行して改定してしまうと、後々整合性が問われると考えるかどうか。

(担当課) 土地利用に関して、総合計画に即するよう、その前に政策企画課と打ち合わせしながら、土地利用転換箇所を決めていくことで会議は進めている。逆をいえば、総合計画に反映できるように当課は進めていきたいと思っている。市の方針として示す根拠として、総合計画ではなく、都市計画マスタープランでもよいと他都市の事例がある。総合計画と整合を図りながら、進めていきたいと考えている。

(委員) 各地域の意見交換会について、参加者の人数が記載されているが、年齢構成は把握しているか。霞ヶ関と名細地区に出席したが、おそらく60歳以上の方々はかなり偏っているのではないかと印象を持っている。他の地域がどうだったか知らない前提ではあるが、開催日時が平日の昼間だったことが要因ではないか。今回の結果は属性として、かなり偏った意見にならざるを得ないものと認識している。まち全体のことも年齢、性別や各地域によって見え方はかなり変わってくる。将来像に期待するものもかなり変わってくるのではないかと考えているので、結果として偏りが出るのは仕方ないが、全世代、全属性の方の意見を反映できる体制だけは作っていただくよう、検討してほしい。

(担当課) その点については、議会でも指摘を受けており我々もどうしたものかと思い、工夫してきた。今回、説明会という対面で意見を伺う場を設定するとともにインターネットで意見を募集したことは、そういった思いがあったためである。とはいえ、若い方の意見をなかなか得られていない。今回限定されたの方々ではあるものの、20歳の集いに出席した数名の方から意見を伺う機会を設け、意見交換をした。20歳の集い開催当日も、現地にて「都市マスタープランの意見を募集します」とビ

ラを配布した。意見をいただけるような環境づくりに一生懸命取り組んでいるが、結果として中々伴わないのは残念である。引き続き、工夫して取り組んでいきたいと思っている。

(委員) 普通に生活していると川越市都市計画マスタープランの見直しと言われても、何のことかわからないと思う。単体で意見を求めていますとかここに来てくださいというのではなく、例えば子育て世帯の方であれば、イベントでそもそも動線ができていところに訪問する等、何かしら工夫をすることで接地面積や接地回数が増えるところからがスタートではないかなと思う。そこは縦割りでなく、グループ体制をうまく庁内で作って、取り組んでいただきたい。

(委員) (仮称)川越東環状線についてのルートは全線確定しているのか。

(担当課) 工業団地の擦り付けの箇所が現状の考えと都市計画のルートと少し異なるが、同箇所が明確に決まっていないため、現道に擦り付けるよう今の図面上に記載をしている。

(委員) 山田地区から芳野地区、国道16号まで至る路線だが、全体構想の中では破線でイメージのように繋がっている。ルートは曖昧で、まだ決定ではないとの表現があるが、芳野、古谷各地区の方針図では実線で表現されている。これを見た人は本当なのかと誤解をするのではないか。古谷地区で東環状線が地区内のどこを通るのか一切ない。住宅地をいくのか、あるいは田園地帯をいくのか、北環状線との結合を考えなければならないが、この方針図では明確に実線で表記されており、少しまずいのではないか。また、芳野と古谷地区の接合自体もずれている、誤っているような気がしており、修正の必要があると思う。

(担当課) まちづくりの方針図は総合計画の土地利用計画図を引用している。図面の右下に「道路整備構想路線については、具体的なルートを規定するものではありません」と記載しているが、整合性を図るように修正していきたいと思う。

(議長) 同一の文章内で整合性が図られていないとの指摘があるので、しっかり点検しないといけない。表現や記載事項を突合し、整合するよう丁寧にしていただきたい。

(委員) 本庁地区の意見交換会で、地区がかなり広いので3～4地区に分けて街区を作りたいことを望むという重要な意見がある。実際は本庁地区、国道の内側と外側でだいぶ環境は異なると思う。そのような視点で資料を見ると、ほとんどが駅周辺だけに特

化している。「公共交通の充実」の箇所でも、鉄道や神明町車庫についての言及はあるが、本庁地区というだけで「かわまる」が来ない、シャトルバスの本数も少なく、非常に交通の便が悪いと思うので、利便性向上の文言に加えて、「かわまる」等の検討も入れたほうが良いのではないかと。

(担当課) 精査しながら、加筆できるものは加筆していきたい。街なかの話が主になっているのはおそらく事実であり、引き続き精査したい。

(委員) 都市計画道路、幹線道路整備に路線だけ書かれていて、何も内容のないページがいくつかある。どういう方針にするべきか、これから書くのか、どう扱うのか。

(担当課) 構想路線、今のところやるかやらないか正直わからない部分もあるが、構想としてある路線名だけ載せている。説明等を書く予定はなかった。

(委員) 方針がないと何をするのかなと思うので、書くか書かないかどうするのかと思った。

(担当課) 将来整備する、削除する等検討していく。

審議結果：継続審議